

#### 1.学習成果について

日本人の学生と交流する機会を得たおかげで、日本語のコミュニケーション能力がますます向上した。これからは、もっと日本語を改善し続け、毎日「読む・書く・話す・聞く」の言語の4技能をそれぞれ伸ばしていきたい。特に、日本の文化や地理などについて多くの知識を蓄えていきたい。

京都大学における授業や学外での見学を体験したおかげで、言語と文化についての知識を効率的に集めることもできた。その上、日本人の学生たちの研究や学習の方法について学ぶこともできた。先生や学生たちと定期的なメール交換を通じて、メールの書き方や文章を工夫する技能が身に付いた。

日本人の学生および他の留学生とグループになり、共に共同発表を行ったことで、日本語をつかって発表することに自信を持つことができた。そして、アセアン諸国と日本について多くの知識を得た。

#### 2.京都大学での経験について

アニメと映画を見る授業を通じて、初めて役割語について学び、それを日常会話で使うことを覚えた。そして、サイレント映画の会話を作ったのは興味深い経験だった。

英語で行われた講義で、様々なテーマに関する議論を行うこともできた。学生たちとの意見交換に積極的に貢献できた。しかしながら、未知の事柄も多かったため、これからもさらなる情報収集に努めたい。

学外文化学習の授業もあった。それを通して、日本人の生活についての理解が深まった。京野菜収穫と京野菜調理を行うことで、労働力の価値について体験することができ、同時に、農家の方々に尊敬の念を抱いた。

#### 3.受入プログラムの内容について

「京都サマープログラム 2016」で、私はアニメと映画を通じて日本語を学習し、文化講座を通じて日本の文化について学ぶことができた。また、学外研修のおかげで、日本の文化や歴史、日本人の習慣に触れ、それらを実際に体験する機会を得た。例えば、京野菜収穫体験やかやぶきの里ツアー、餅つき体験等である。その上、京都大学について紹介を聞き、京都市の歴史について学ぶ機会もあった。英語でおこなわれた授業もあった。そして、日本人の学生および他の留学生と交流し、共に共同発表をおこなった。

#### 4.今後の進路への影響について

現在、日本語教育を専攻しており、これについて学んでいる。将来日本語の教師になりたいと考えている。これは、日本に興味や関心を寄せる人に日本語と日本の文化を教えたいという希望があるからである。今回のプログラムでの経験は大いに自分の将来に役立つだろう。このプログラムに参加できたおかげで、日本語をつかって会話することに十分自信が持てたと思う。